

**令和5年度教育に関する事務の管理
及び執行の状況の点検及び評価報告書
(令和4年度対象事業)**

吉野川市教育委員会

| | |
|-------------------------|------|
| 1. 点検・評価について | 1-2 |
| 2. 事業の評価 | 3 |
| (1) 評価方法 | 3 |
| (2) 評価基準 | 3 |
| (3) 総合評価 | 3 |
| (4) 今後の方向性 | 3 |
| 3. 教育委員会の運営状況 | 4 |
| (1) 令和4年度教育委員 | 4 |
| (2) 教育委員会会議の開催状況について | 4 |
| (3) 教育委員会の定例会、臨時会開催日 | 5 |
| (4) 教育委員会会議以外の活動 | 5-7 |
| 4. 吉野川市教育委員会評価結果一覧表 | 8 |
| 5. 自己点検評価シート(令和4年度実施事業) | 9-23 |

1. 点検・評価について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条により、教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表しなければならないこととなっています。

吉野川市教育委員会では、市民への説明責任を果たすことを目的に教育委員会の権限に属する事務の「点検・評価」を実施し、報告書としてまとめました。なお、新型コロナウイルス感染症対応等のため、実施できていない事業は「評価なし」と表記しています。

1. 推進プログラムの体系

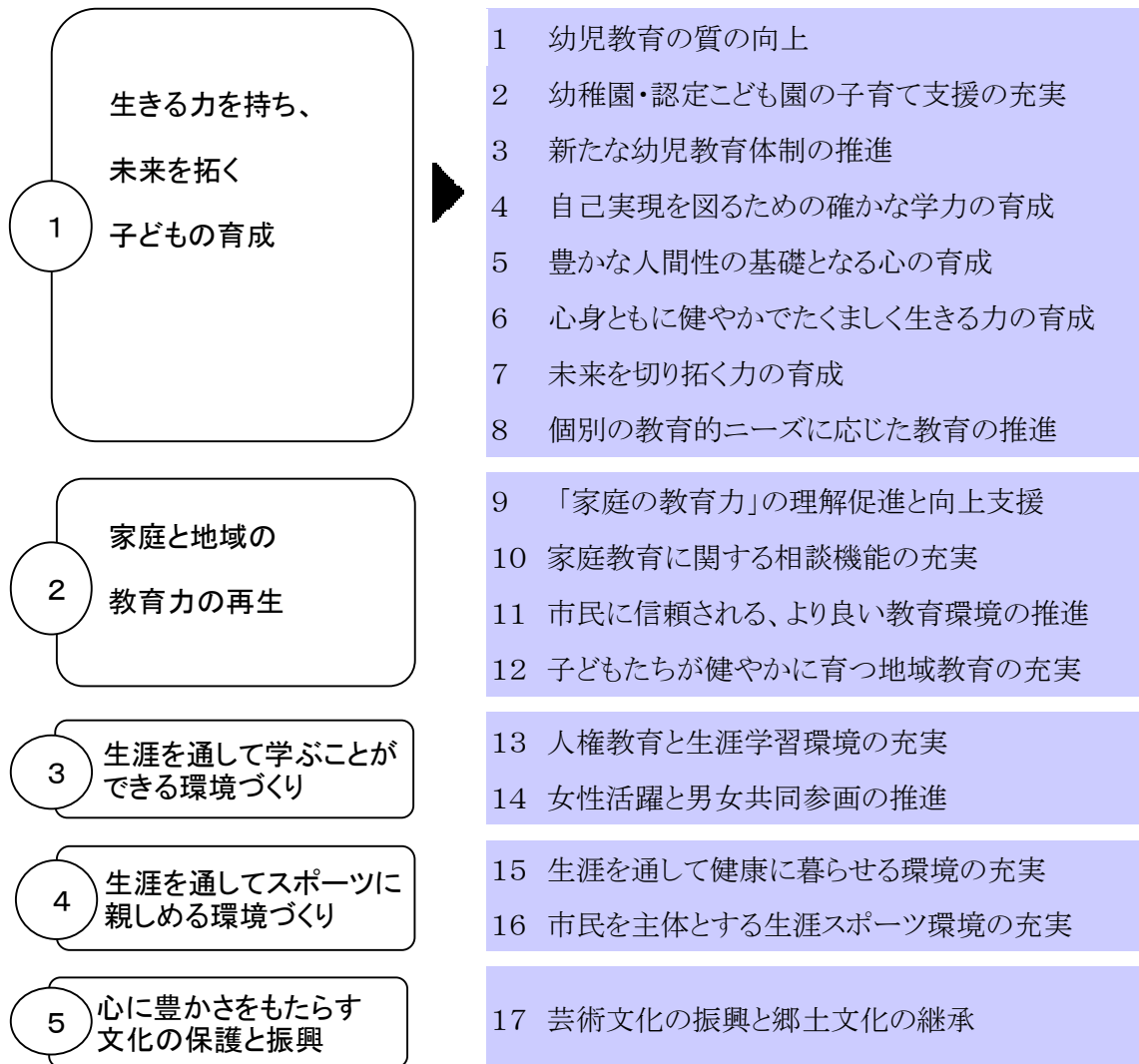
本計画の基本理念と5つの教育目標のもと、以下の体系で具体的な施策を推進します。

教育理念

- 学校・家庭・地域の相互理解と協力・連携の中、子どもたち一人一人に思いやりの心を育み、21世紀を生き抜く力の基礎を自ら培う学校教育の推進
- 地域資源を生かしながら、市民一人一人の豊かな人生をつくり、市の発展につながる生涯学習文化の創造

▼教育目標

▼推進プログラム



2. 事業の評価

(1) 評価方法

点検・評価方法として、教育委員会の権限に属する事務のうち、特に重点的施策とする主要な事業を対象とし、PDCAサイクルを活用した方法で評価します。

(2) 評価基準

① 必要性

現在の市民のニーズや社会情勢等に照らして、事業の必要性があるかどうか、状況の変化に対応しているかどうかを評価します。

② 有効性

施策や運営方針、教育委員会で策定した「第2期吉野川市教育振興計画」の目標の実現にどの程度寄与しているかを評価します。

③ 効率性

事業コストがかかりすぎていないか、最少の経費で最大の効果を発揮しているか、無駄がないかなど、経済性の面から評価します。また、事務作業に無駄がないか、更なる効率性が図れないかを評価します。

④ 目標達成度

目標の達成状況の評価します。併せて、目標の設定水準が適切かどうかも検討します。

(3) 総合評価

事業の各評価基準を勘案し、総合的に評価を行います。

総合評価のランク

| | |
|---|-----------------------------|
| A | 予定どおり順調に事務執行し、具体的な成果が表れている。 |
| B | 概ね順調に事務執行し、成果が表れている。 |
| C | 目標とした成果が予定を下回っている。 |

(4) 今後の方向性

総合評価を勘案し、今後の方針を決定します。

また、事業の実施結果を踏まえ、今後の課題とその改善案を策定します。

3. 教育委員会の運営状況

(1) 令和4年度教育委員

(令和4年4月1日現在)

| 職名 | 氏名 | 任期 |
|--------------------------------|--------|----------------------|
| 教育長 | 栗洲 敬司 | R2.4.1 - R5.3.31 |
| 教育長職務代理者 (任期R4.4.1-R5.3.31) | 熊代 雄一郎 | R2.11.28 - R6.11.27 |
| 委員 | 鹿児島 康江 | H30.12.26 - R4.12.25 |
| 委員 | 川村 徳子 | R1.11.26 - R5.11.25 |
| 委員 | 栗原 奈麻美 | R3.12.24 - R7.12.23 |
| 委員 | 貞野 雅己 | R2.12.22 - R6.12.21 |

(令和5年3月31日現在)

| 職名 | 氏名 | 任期 |
|--------------------------------|--------|---------------------|
| 教育長 | 栗洲 敬司 | R2.4.1 - R5.3.31 |
| 教育長職務代理者 (任期R4.4.1-R5.3.31) | 熊代 雄一郎 | R2.11.28 - R6.11.27 |
| 委員 | 川村 徳子 | R1.11.26 - R5.11.25 |
| 委員 | 栗原 奈麻美 | R3.12.24 - R7.12.23 |
| 委員 | 貞野 雅己 | R2.12.22 - R6.12.21 |
| 委員 | 山口 奈美 | R4.12.26 - R8.12.25 |

(2) 教育委員会会議の開催状況について

教育委員会の会議は、毎月1回開催される定例会のほか、必要に応じて開催される臨時会があり、教育委員会の議決案件について審議を行うとともに、重要事項について教育委員会事務局から報告等を受けています。

令和4年度 開催回数

| | |
|-----------|-----|
| 教育委員会定例会議 | 12回 |
| 教育委員会臨時会議 | 1回 |

(3)教育委員会の定例会、臨時会開催日

| | |
|--------|--------------|
| 4月定例会 | 令和 4年 4月27日 |
| 5月定例会 | 令和 4年 5月26日 |
| 6月定例会 | 令和 4年 6月29日 |
| 7月定例会 | 令和 4年 7月29日 |
| 8月定例会 | 令和 4年 8月26日 |
| 9月定例会 | 令和 4年 9月28日 |
| 10月定例会 | 令和 4年 10月28日 |
| 11月定例会 | 令和 4年 11月25日 |
| 12月定例会 | 令和 4年 12月20日 |
| 1月定例会 | 令和 5年 1月27日 |
| 2月定例会 | 令和 5年 2月22日 |
| 臨時会 | 令和 5年 3月 8日 |
| 3月定例会 | 令和 5年 3月23日 |

(4)教育委員会会議以外の活動

【学校訪問】

| 年 月 日 | 学 校 名 | |
|-------------|---------|---------|
| 令和 4年 5月16日 | 鴨島第一中学校 | 知恵島小学校 |
| 令和 4年 5月24日 | 牛島小学校 | 森山小学校 |
| 令和 4年 5月25日 | 学島小学校 | 高越小学校 |
| 令和 4年 5月31日 | 鴨島小学校 | 飯尾敷地小学校 |
| 令和 4年11月 9日 | 山瀬小学校 | 山川中学校 |
| 令和 4年11月15日 | 川島小学校 | 市立川島中学校 |
| 令和 4年11月18日 | 西麻植小学校 | |
| 令和 4年11月21日 | 上浦小学校 | 鴨島東中学校 |

○新型コロナウイルス感染症対策下の学校訪問について

令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、教育長のみが各校を訪問し、その内容・状況を定例教育委員会において、教育委員に説明しました。

令和4年度は、訪問人数をコロナ禍以前より減らした6名(教育長、教育委員3名、事務局2名)とし、各校を訪問しました。

【入学式】

| 年 月 日 | 学 校 名 |
|-------------|-------------|
| 令和 4年 4月11日 | 市立中学校、市立小学校 |

○令和4年度入学式においては、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、教育委員会出席者は各校1名とし、祝辞は読み上げず、祝文を印刷して保護者に配付しました。

【卒業式】

| 年 月 日 | 学 校 名 |
|-------------|------------|
| 令和 5年 3月10日 | 市立中学校(4校) |
| 令和 5年 3月16日 | 市立小学校(11校) |

【総合教育会議】

| 年 月 日 | 内 容 |
|-------------|---|
| 令和 5年 1月27日 | <p>議題</p> <p>1. 吉野川市立学校におけるICTの活用について 「吉野川市小学校におけるGIGAスクール」について、 小学校教諭のプレゼン後に、質疑応答、意見交換。</p> <p>【出席者】 市長・副市長・政策監・総務部次長 教育長・副教育長2名・教育総務課長・学校教育課長・ 教育委員5名</p> |

【教育表彰】

| 年 月 日 | 内 容 | 場 所 |
|-------------|---|--------|
| 令和 4年12月17日 | <p>令和4年度教育表彰式 優れた成績をおさめた児童・生徒及び学校教育、社会教育等に顕著な功績をあげた者に対し、表彰を行う。</p> <p>【表彰件数】 個人 12件 団体 3件</p> | 吉野川市役所 |

【その他主な行事・研修会等への委員の出席状況】

| 年 月 日 | 内 容 | 場 所 |
|-------------|---|--------------|
| 令和 4年 4月 5日 | 令和4年度徳島県・市町村教育委員会教育行政連絡協議会 (教育長のみ出席) | 徳島県立総合教育センター |
| 令和 4年11月10日 | 令和4年度徳島県・市町村教育委員会教育委員等研修会 | オンライン |
| 令和 5年 1月 3日 | 二十歳を祝う会 | 吉野川市民プラザ |

○令和5年1月3日の二十歳を祝う会は、保護者の入場も可能とし、検温・手指消毒・バーコード付き案内メールによる入場確認等、新型コロナウイルス対策を実施した上で開催いたしました。

【休校式】

| 年 月 日 | 学 校 名 |
|-------------|-------|
| 令和 5年 3月19日 | 上浦小学校 |

○教育委員会を代表して、教育長が出席しました。

4. 吉野川市教育委員会評価結果一覧表

| No. | 事務事業名 | 担当課 | 評価 |
|-----|------------------------|-----------|------|
| 1 | 学校施設維持管理事業 | 教育総務課 | B |
| 2 | 学校遊具整備事業 | 同 | A |
| 3 | 学校再編事業(鴨島東部地区) | 学校再編準備室 | B |
| 4 | 市立中学校「英語検定」検定料補助事業 | 学校教育課 | A |
| 5 | 特別支援教育支援員配置事業 | 同 | B |
| 6 | 帰国・外国人児童・生徒“いきいき”モデル事業 | 同 | A |
| 7 | スクールカウンセラー配置事業 | 同 | A |
| 8 | 適応指導教室の充実 | 同 | A |
| 9 | スクールバス運行業務 | 同 | A |
| 10 | 奨学金貸与事業 | 同 | B |
| 11 | ICT環境整備事業 | 同 | A |
| 12 | デジタル教科書更新事業 | 同 | A |
| 13 | 中学校夜間学級就学援助支給事業 | 同 | A |
| 14 | 青少年育成補導センター | 生涯学習課 | B |
| 15 | 人権教育推進事業 | 同 | A |
| 16 | 二十歳を祝う会開催事業 | 同 | A |
| 17 | 公民館活動推進事業 | 同 | B |
| 18 | 文化施設管理事業 | 同 | B |
| 19 | 文化財保護管理事業 | 同 | A |
| 20 | 文化芸術振興事業 | 同 | A |
| 21 | 全国大会参加者派遣補助事業 | 同 | A |
| 22 | 徳島駅伝吉野川市選手団運営委員会 | 同 | A |
| 23 | スポーツ団体活動支援・人材育成事業 | 同 | A |
| 24 | 体育施設の管理・運営事業 | 同 | A |
| 25 | 吉野川市民プラザ等指定管理業務 | 同 | A |
| 26 | 美郷一周駅伝事業 | 同 | B |
| 27 | 吉野川市リバーサイドハーフマラソン事業 | 同 | B |
| 28 | インターハイ開催事業 | 全国高校総体推進室 | A |
| 29 | 学校給食センター事業 | 学校給食センター | A |
| 30 | 英語教育振興補助事業 | 学校教育課 | 評価なし |

自己点検評価シート(令和4年度実施事業)

① 基本情報

| 事業番号 | 事務事業名 | | 学校施設維持管理事業 | 事業種別 | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 |
|------|-----------------------|---------|-------------------------|--------|--|
| 1 | 第2次 吉野川市 教育振興計画 | 教育目標 | 2 家庭と地域の教育力の再生 | 担当課(係) | 教育総務課(総務係) |
| | | 推進プログラム | 11 市民に信頼される、より良い教育環境の推進 | | |

② 事業概要 (PLAN: 計画設計)

| | |
|--------------------|---|
| 事業の目的・内容 | 吉野川市立小・中学校の児童生徒及び関係者が安全で快適に過ごせるよう、学校施設の維持管理を適切に行うことで教育環境の整備を図る。 |
| 前年度課題を踏まえた目標(新規除く) | 学校施設の長寿命化計画を考慮した上で、計画していた改修と年度途中に生じた緊急性の高い改修のバランスをとりつつ、学校施設の維持管理を行うことで、安全で快適な学校施設の整備に努める。 |

③ 実施結果 (DO: 推進)

| | 名称 | 単位 | R4実績 |
|-------------|--|----|------|
| 事業実績・成果(指標) | 施設維持管理修繕実施 | 校 | 15 |
| 事業費 | 20,753 千円(R4決算) | | |
| 事業の実施内容 | 学校訪問時又は学校からの適宜報告等により、各学校の改修必要箇所等の集約、現場確認を行った上で、予算計上を行い、計画的な改修に努めた。また、年度途中で発生した不具合等には、当初の計画を鑑みつつ、優先順位をつけ、改修等を行った。 | | |

④ 事業の評価 (CHECK: 点検・評価)

| | | | |
|-----------------------|---|-------|--|
| 総合評価 (A:高、B:中、C:低) | B | 評価理由等 | 計画的な改修に努め、年度途中の緊急性の高い修繕等にも柔軟に対応したものの、予算不足等の理由から各学校からの改修要望箇所を全て対応することはできなかった。 |
|-----------------------|---|-------|--|

⑤ 今後の方向性 (ACTION: 改善)

| 今後の方針 | 今後の課題と改善案等 | 実施予定時期 |
|--------|---|--------|
| 見直し/改善 | 限られた予算の範囲内で各学校からの改修要望箇所を全て対応することは困難であるため、計画的な改修と併せて、重要度や緊急性の高いものを判断し維持管理を行うことで、安全で快適な学校施設の整備に努める。 | 令和5年度 |

① 基本情報

| 事業番号 | 事務事業名 | | 学校遊具整備事業 | 事業種別 | <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 継続 |
|------|-----------------------|---------|-------------------------|--------|--|
| 2 | 第2次 吉野川市 教育振興計画 | 教育目標 | 2 家庭と地域の教育力の再生 | 担当課(係) | 教育総務課(総務係) |
| | | 推進プログラム | 11 市民に信頼される、より良い教育環境の推進 | | |

② 事業概要 (PLAN: 計画設計)

| | |
|--------------------|---|
| 事業の目的・内容 | 令和4年度は「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用し、学校遊具の新設や修繕を行うことで、コロナ禍により減少した子どもたちの運動時間や遊びの機会の創出を図ることを目的とする。 |
| 前年度課題を踏まえた目標(新規除く) | - |

③ 実施結果 (DO: 推進)

| | 名称 | 単位 | R4実績 |
|-------------|---|----|------|
| 事業実績・成果(指標) | 学校遊具修繕 | 校 | 2 |
| | 学校遊具新設 | 校 | 4 |
| 事業費 | 5,539 千円(R4決算) | | |
| 事業の実施内容 | 森山小学校の低鉄棒、知恵島小学校の大型滑台、西麻植小学校の中型ブランコ、飯尾敷地小学校の山型雲梯を新設、鴨島小学校の4連ブランコ、木製総合遊具、学島小学校の4連ブランコ、富士型コーナー型滑台を修繕した。 | | |

④ 事業の評価 (CHECK: 点検・評価)

| | | | |
|-----------------------|---|-------|--|
| 総合評価 (A:高、B:中、C:低) | A | 評価理由等 | 市立小学校の遊具を新設又は修繕することで、安全かつ快適に遊具を使用することが可能となり、子どもたちの運動時間や遊びの機会の創出につながった。 |
|-----------------------|---|-------|--|

⑤ 今後の方向性 (ACTION: 改善)

| 今後の方針 | 今後の課題と改善案等 | 実施予定時期 |
|-------|--|--------|
| 現状維持 | 「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用した遊具の新設・修繕は完了したが、その他にも修繕を要する遊具が多数存在するため、遊具点検を定期的に実施し、計画的な修繕を今後も継続する。 | 令和5年度 |

自己点検評価シート(令和4年度実施事業)

① 基本情報

| 事業番号 | 事務事業名 | | 学校再編事業(鴨島東部地区) | 事業種別 | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 |
|------|-----------------------|---------|-------------------------|--------|--|
| 3 | 第2次 吉野川市 教育振興計画 | 教育目標 | 2 家庭と地域の教育力の再生 | 担当課(係) | 学校再編準備室(政策調整係) |
| | | 推進プログラム | 11 市民に信頼される、より良い教育環境の推進 | | |

② 事業概要(PLAN:計画設計)

| | |
|--------------------|---|
| 事業の目的・内容 | 鴨島東部地区における学校の適正規模・適正配置に配慮しつつ、本市の将来を担う子どもたちにより良い教育環境を整えることを目的として、中・長期的な展望に立ち、小規模化している市立小・中学校を再編する。 |
| 前年度課題を踏まえた目標(新規除く) | 学校再編計画(素案)は、令和5年度に見直しの時期を迎えるため、将来の児童生徒数を推計し、また適切な方法で保護者の意見や要望をお聞きした上で、当該計画の内容の見直しを進めていく。 |

③ 実施結果(DO:推進)

| | 名称 | 単位 | R4実績 |
|-------------|---|----|------|
| 事業実績・成果(指標) | 鴨島東部地区の小中学校の再編 | | 未再編 |
| 事業費 | 0 千円(R4決算) | | |
| 事業の実施内容 | 令和4年度を以て上浦小学校を休校とするに当たり、保護者や地域住民に対する説明会を令和4年5月に開催し、一定の理解を得られたと考えている。また、鴨島東部地区の他の小中学校については、事業を進めることができず、令和5年度に向けての準備を行うにとどまった。 | | |

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

| | | | |
|-----------------------|---|-------|---|
| 総合評価 (A:高、B:中、C:低) | B | 評価理由等 | 上浦小学校区の保護者や地域住民に対する説明会を令和4年5月に開催し、同校の休校について一定の理解が得ることができ、鴨島東部地区の子どもたちのより良い教育環境の整備に寄与することができた。 |
|-----------------------|---|-------|---|

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

| 今後の方針 | 今後の課題と改善案等 | 実施予定時期 |
|--------|---|--------|
| 見直し/改善 | 鴨島第一中学校と鴨島東中学校の統合の可否や方法についてが課題であるため、鴨島東中学校区において、生徒数の現状や将来推計についての説明会を開催することで、PTA関係者の意見をお聞きし、学校再編計画の内容の見直しに繋げていく。 | 令和5年度 |

① 基本情報

| 事業番号 | 事務事業名 | | 市立中学校「英語検定」検定料補助事業 | 事業種別 | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 |
|------|-----------------------|---------|-----------------------|--------|--|
| 4 | 第2次 吉野川市 教育振興計画 | 教育目標 | 1 生きる力を持ち、未来を拓く子どもの育成 | 担当課(係) | 学校教育課(学校教育係) |
| | | 推進プログラム | 7 未来を切り拓く力の育成 | | |

② 事業概要(PLAN:計画設計)

| | |
|--------------------|--|
| 事業の目的・内容 | 吉野川市立中学校で行う「英検」を受検する中学生の保護者に対し、検定料の一部を補助し、受検者数を増加させるとともに、英語学習への取り組み意欲を高める。 補助額 4級:1,900円 3級:2,900円 準2級:3,600円 2級:3,600円 |
| 前年度課題を踏まえた目標(新規除く) | CEFR A1レベル相当(英検3級程度)以上の英語力を持つ中学3年生の割合について、令和6年度までに55%以上を目指す。 |

③ 実施結果(DO:推進)

| | 名称 | 単位 | R4実績 |
|-------------|---|----|------|
| 事業実績・成果(指標) | CEFR A1レベル相当(英検3級程度)以上の英語力を持つ中学3年生の割合 | % | 57.9 |
| 事業費 | 391 千円(R4決算) | | |
| 事業の実施内容 | 公費受検者数(補助金交付者数)及び合格者数 2級:受検者2名(合格者0名) 準2級:受検者17名(合格者8名) 3級:受検者68名(合格者56名) 4級:受検者66名(合格者59名) | | |

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

| | | | |
|-----------------------|---|-------|--|
| 総合評価 (A:高、B:中、C:低) | A | 評価理由等 | 本事業は本市総合戦略における具体的事業であり、令和6年度までに掲げた指標に到達したため。 |
|-----------------------|---|-------|--|

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

| 今後の方針 | 今後の課題と改善案等 | 実施予定時期 |
|-------|---|--------|
| 現状維持 | 各校に配置したALT等を活用し、英語の技能向上に努めるとともに、令和6年度のCEFR A1レベル相当(英検3級程度)以上の英語力を持つ中学3年生の割合について、55%以上を維持する。 | 令和5年度 |

自己点検評価シート(令和4年度実施事業)

① 基本情報

| 事業番号 | 事務事業名 | | 特別支援教育支援員配置事業 | 事業種別 | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 |
|------|-----------------------|---------|-----------------------|--------|--|
| 5 | 第2次 吉野川市 教育振興計画 | 教育目標 | 1 生きる力を持ち、未来を拓く子どもの育成 | 担当課(係) | 学校教育課(学校教育係) |
| | | 推進プログラム | 8 個別の教育的ニーズに応じた教育の推進 | | |

② 事業概要 (PLAN: 計画設計)

| | |
|--------------------|--|
| 事業の目的・内容 | 市内の市立小・中学校に特別支援教育支援員を配置し、学校生活や学習の面で特別な支援を必要とする児童生徒に対し食事・排泄・教室移動の際の補助等日常生活動作の介助や、学習活動上のサポートなどを行う。 |
| 前年度課題を踏まえた目標(新規除く) | 業務に必要な知識技能等について研修を行う。 |

③ 実施結果 (DO: 推進)

| | 名称 | 単位 | R4実績 |
|-------------|---|----|------|
| 事業実績・成果(指標) | 特別支援教育支援員配置人数 | 人 | 15 |
| 事業費 | 25,234 千円(R4決算) | | |
| 事業の実施内容 | 15名を雇用し、日常生活・学習面で特別な支援を必要とする児童生徒の支援を行った。また、新規雇用の支援員に対しては、業務に必要な知識や心構え等についての研修も実施した。 | | |

④ 事業の評価 (CHECK: 点検・評価)

| | | | |
|----------------------------|---|-------|---|
| 総合評価 (A: 高, B: 中, C: 低) | B | 評価理由等 | 特別な支援が必要な児童生徒は増加しており、必要性はますます高まっている。市立小・中学校に合計16名を配置することにしていたが、人材の確保が難しく、鴨島一中には2名予定のところ1名の配置となった。 |
|----------------------------|---|-------|---|

⑤ 今後の方向性 (ACTION: 改善)

| 今後の方針 | 今後の課題と改善案等 | 実施予定時期 |
|--------|---|--------|
| 見直し/改善 | 職務内容から、適切な人材の確保が課題であるため、人材の確保に努め、希望する学校への確実な配置を目指す。 | 令和5年度 |

① 基本情報

| 事業番号 | 事務事業名 | | 帰国・外国人児童・生徒“いきいき”モデル事業 | 事業種別 | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 |
|------|-----------------------|---------|------------------------|--------|--|
| 6 | 第2次 吉野川市 教育振興計画 | 教育目標 | 1 生きる力を持ち、未来を拓く子どもの育成 | 担当課(係) | 学校教育課(学校教育係) |
| | | 推進プログラム | 8 個別の教育的ニーズに応じた教育の推進 | | |

② 事業概要 (PLAN: 計画設計)

| | |
|--------------------|---|
| 事業の目的・内容 | 各小・中学校に転入してきた帰国・外国人児童生徒に日本語指導が必要な場合、各学校からの要請により、民間の日本語講師を学校に派遣する。 |
| 前年度課題を踏まえた目標(新規除く) | 各小・中学校へ日本語指導が必要な児童生徒について把握し、引き続き学習支援を行う。 |

③ 実施結果 (DO: 推進)

| | 名称 | 単位 | R4実績 |
|-------------|---|----|------|
| 事業実績・成果(指標) | 日本語指導が必要な帰国・外国人児童生徒への支援の割合 | % | 100 |
| 事業費 | 127 千円(R4決算) | | |
| 事業の実施内容 | 各小・中学校へ日本語指導が必要な児童生徒が在籍しているか調査。その後、日本語指導が必要な児童2名に対して日本語講師を派遣し、一人あたり約30回の支援を行った。 | | |

④ 事業の評価 (CHECK: 点検・評価)

| | | | |
|----------------------------|---|-------|---|
| 総合評価 (A: 高, B: 中, C: 低) | A | 評価理由等 | 日本語指導を希望する外国人児童に対して、講師を派遣し、日本語学習の支援が十分にできているため。 |
|----------------------------|---|-------|---|

⑤ 今後の方向性 (ACTION: 改善)

| 今後の方針 | 今後の課題と改善案等 | 実施予定時期 |
|-------|---|--------|
| 現状維持 | 今後、就学・転入等により新規対象者が増える可能性が高いため、学校と密に連携を取り合い、もれのない支援を行う。また、対象者の学年が上がるとともに必要な日本語レベルも上がるため、毎年継続して実施する必要がある。 | 令和5年度 |

自己点検評価シート(令和4年度実施事業)

① 基本情報

| 事業番号 | 事務事業名 | | スクールカウンセラー配置事業 | 事業種別 | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 |
|------|-----------------------|---------|-----------------------|--------|--|
| 7 | 第2次 吉野川市 教育振興計画 | 教育目標 | 1 生きる力を持ち、未来を拓く子どもの育成 | 担当課(係) | 学校教育課(学校教育係) |
| | | 推進プログラム | 5 豊かな人間性の基礎となる心の育成 | | |

② 事業概要 (PLAN: 計画設計)

| | |
|--------------------|---|
| 事業の目的・内容 | 不登校やいじめ問題等への対応のため、小学校にスクールカウンセラー(臨床心理士)を2名配置し学校に訪問することで、児童へのカウンセリング及び保護者や教員への助言支援など、個の実情に応じた教育相談や支援体制の強化・充実を図る。 |
| 前年度課題を踏まえた目標(新規除く) | 不登校やいじめ問題の他、友人関係や新型コロナに伴う不安感など、児童の多岐にわたる心のケアを相談や助言支援を通じて対応する。 |

③ 実施結果 (DO: 推進)

| | 名称 | 単位 | R4実績 |
|-------------|---|----|------|
| 事業実績・成果(指標) | 吉野川市スクールカウンセラー(小学校) | 人 | 2 |
| | 年間相談件数 | 件 | 1318 |
| 事業費 | 4,065 千円(R4決算) | | |
| 事業の実施内容 | スクールカウンセラーが、各々の実情に応じた児童の心のケアや悩み相談など、個の状況に応じた教育相談を行った。 | | |

④ 事業の評価 (CHECK: 点検・評価)

| | | | |
|--------------------------|---|-------|---|
| 総合評価 (A: 高、B: 中、C: 低) | A | 評価理由等 | 児童や児童を取り巻く状況への精神的なケアや対処は非常に重要であり、それに十分対応しているため。 |
|--------------------------|---|-------|---|

⑤ 今後の方向性 (ACTION: 改善)

| 今後の方針 | 今後の課題と改善案等 | 実施予定時期 |
|-------|--|--------|
| 現状維持 | 児童へのカウンセリングや保護者及び教職員への相談だけではなく、社会情勢や対人関係による児童の心のケアに対応する人員の確保について、財政課と協議を行いながら対応していく。 | 令和5年度 |

① 基本情報

| 事業番号 | 事務事業名 | | 適応指導教室の充実 | 事業種別 | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 |
|------|-----------------------|---------|-----------------------|--------|--|
| 8 | 第2次 吉野川市 教育振興計画 | 教育目標 | 1 生きる力を持ち、未来を拓く子どもの育成 | 担当課(係) | 学校教育課(学校教育係) |
| | | 推進プログラム | 7 豊かな人間性の基礎となる心の育成 | | |

② 事業概要 (PLAN: 計画設計)

| | |
|--------------------|--|
| 事業の目的・内容 | 様々な理由で登校困難となった児童生徒が一時的に適応指導教室「つつじ学級」に通うことで、悩みの解決と学習相談や教育活動を行うとともに、教育相談室「いきいき吉野川っ子」において悩みや不安の解消のため児童生徒・保護者並びに教職員の相談支援を行い、関係機関との連絡調整を行う。 |
| 前年度課題を踏まえた目標(新規除く) | 様々な理由から増加している不登校の児童生徒を、各校の対応職員や関係機関と連携し、適応指導教室につなげ、在籍児童生徒の進学・学校復帰を支援する。 |

③ 実施結果 (DO: 推進)

| | 名称 | 単位 | R4実績 |
|-------------|---|----|------|
| 事業実績・成果(指標) | 通室児童生徒数 | 人 | 11 |
| | 相談件数(来室相談・電話相談・学校訪問) | 件 | 72 |
| | 体験通室 | 件 | 8 |
| 事業費 | 4,471 千円(R4決算) | | |
| 事業の実施内容 | 通室児童生徒に対し、相談員及び指導員が個々に教育相談や基本的な生活習慣の指導及び学習指導等を行うことにより、進学支援や学校への復帰及び復帰後のフォローアップを行った。さらに月1回程度カウンセラーの相談日を設けており、より専門的な相談対応を行った。 | | |

④ 事業の評価 (CHECK: 点検・評価)

| | | | |
|--------------------------|---|-------|---|
| 総合評価 (A: 高、B: 中、C: 低) | A | 評価理由等 | 体験通室にやってきた登校困難となった児童生徒8人中7人がつつじ学級へと入級し、4人が継続して通室しており3人が学校へ復帰するなど状況改善につながっている。 |
|--------------------------|---|-------|---|

⑤ 今後の方向性 (ACTION: 改善)

| 今後の方針 | 今後の課題と改善案等 | 実施予定時期 |
|-------|---|--------|
| 拡大 | 不登校の児童生徒は増加しており、学校復帰・社会とのつながり確保のために適応指導教室の役割は大きい。関係機関へ周知・啓発を積極的に行い、不登校児童生徒を適応指導教室につないでいく。また、「いきいき吉野川っ子」についても広報し、不登校を未然に防ぐ取り組みを行う。 | 令和5年度 |

自己点検評価シート(令和4年度実施事業)

① 基本情報

| | | | | | |
|------|-----------------------|------------|-----------------------|--|--------------|
| 事業番号 | 事務事業名 | スクールバス運行業務 | 事業種別 | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | |
| 9 | 第2次 吉野川市 教育振興計画 | 教育目標 | 1 生きる力を持ち、未来を拓く子どもの育成 | 担当課(係) | 学校教育課(学校教育係) |
| | | 推進プログラム | 4 自己実現を図るための確かな学力の育成 | | |

② 事業概要 (PLAN: 計画設計)

| | |
|--------------------|---|
| 事業の目的・内容 | ①高越小学校に通学する、美郷区域内の児童及び山川区域内の一部児童 ②山川中学校に通学する、美郷区域内の生徒 上記対象者について、遠隔地からの通学に係る移動手段の確保(安全な登下校の確保) |
| 前年度課題を踏まえた目標(新規除く) | 市が所有する6台のスクールバスを運行し、対象となる児童生徒の遠隔地からの通学について、登下校時の移動手段の確保を図る。 |

③ 実施結果 (DO: 推進)

| | 名称 | 単位 | R4実績 |
|-------------|----------------------------|----|------|
| 事業実績・成果(指標) | 高越小学校利用者数 | 人 | 89 |
| | 山川中学校利用者数 | 人 | 9 |
| 事業費 | 11,398 千円(R4決算) | | |
| 事業の実施内容 | スクールバス6台の運行に係る業務委託、整備管理を実施 | | |

④ 事業の評価 (CHECK: 点検・評価)

| | | | |
|-----------------------|---|-------|--|
| 総合評価 (A:高、B:中、C:低) | A | 評価理由等 | 関係者間(市教委、運営業者、学校、利用児童生徒の保護者)の連携、情報の共有に努め、安全な登下校の運行を実施した。 |
|-----------------------|---|-------|--|

⑤ 今後の方向性 (ACTION: 改善)

| 今後の方針 | 今後の課題と改善案等 | 実施予定時期 |
|-------|---|--------|
| 現状維持 | 運行業務は令和3年7月から令和6年6月までの3年間の長期継続契約により実施しているが、社会事情に対応するため、次回更新時に契約期間等に係る検討が必要。 | 随時 |

① 基本情報

| | | | | | |
|------|-----------------------|---------|-----------------------|--|--------------|
| 事業番号 | 事務事業名 | 奨学金貸与事業 | 事業種別 | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | |
| 10 | 第2次 吉野川市 教育振興計画 | 教育目標 | 1 生きる力を持ち、未来を拓く子どもの育成 | 担当課(係) | 学校教育課(学校教育係) |
| | | 推進プログラム | 8 個別の教育的ニーズに応じた教育の推進 | | |

② 事業概要 (PLAN: 計画設計)

| | |
|--------------------|---|
| 事業の目的・内容 | 吉野川市奨学生として認定された者に対し、奨学金を貸与することで修学の機会を確保し、次代を担う豊かな人材を育成する。 |
| 前年度課題を踏まえた目標(新規除く) | 経済的理由により修学が困難な者に対し、大学進学のための奨学金を継続する。市の奨学金以外にも県や日本学生支援機構などの奨学金の周知を行い、修学の機会を確保する。 |

③ 実施結果 (DO: 推進)

| | 名称 | 単位 | R4実績 |
|-------------|--|----|------|
| 事業実績・成果(指標) | R4年度貸与人数 | 人 | 3 |
| | (内訳:私立大1名、高校生2名) | | |
| 事業費 | 516 千円(R4決算) | | |
| 事業の実施内容 | 市発行の広報誌・ホームページなどを活用し、制度の活用(貸与申請など)に関して周知等を行った。 | | |

④ 事業の評価 (CHECK: 点検・評価)

| | | | |
|-----------------------|---|-------|---------------------|
| 総合評価 (A:高、B:中、C:低) | B | 評価理由等 | 市の奨学金貸与の業務を滞りなく行った。 |
|-----------------------|---|-------|---------------------|

⑤ 今後の方向性 (ACTION: 改善)

| 今後の方針 | 今後の課題と改善案等 | 実施予定時期 |
|--------|---|--------|
| 見直し/改善 | 大学進学のための奨学金は継続する。また、市の奨学金以外にも県や日本学生支援機構などの奨学金の周知を行い、修学の機会の確保に努める。 | 令和5年度 |

自己点検評価シート(令和4年度実施事業)

① 基本情報

| | | | | | |
|------|-----------------------|-----------|-----------------------|--|--------------|
| 事業番号 | 事務事業名 | ICT環境整備事業 | 事業種別 | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | |
| 11 | 第2次 吉野川市 教育振興計画 | 教育目標 | 1 生きる力を持ち、未来を拓く子どもの育成 | 担当課(係) | 学校教育課(学校教育係) |
| | | 推進プログラム | 7 未来を切り拓く力の育成 | | |

② 事業概要 (PLAN: 計画設計)

| | |
|--------------------|--|
| 事業の目的・内容 | 児童生徒の情報活用能力の向上を図るために、学校のICT環境の整備や保守維持管理、支援員による授業のサポート等、教職員がICT教育を推進していくための支援を行う。 |
| 前年度課題を踏まえた目標(新規除く) | ①ICT機器の整備や保守維持管理を行う。(ハード面での支援) ②【小学校】ICT支援員によるサポート等を行う。(ソフト面での支援) |

③ 実施結果 (DO: 推進)

| | | 名称 | 単位 | R4実績 |
|-------------|--|--------------------|----|-----------------|
| 事業実績・成果(指標) | | ICT支援員(報酬・期末手当・旅費) | 千円 | 3,839 |
| | | 需用費 | 千円 | 622 |
| | | 委託料・使用量及び賃貸料 | 千円 | 41,808 |
| 事業費 | | | | 46,267 千円(R4決算) |
| 事業の実施内容 | 学校でのICT教育上必要となるICT関係機器(パソコン・タブレットPC・サーバー等)やネットワーク機器の管理・運用保守・更新等。 | | | |

④ 事業の評価 (CHECK: 点検・評価)

| | | | |
|-----------------------|---|-------|--|
| 総合評価 (A:高、B:中、C:低) | A | 評価理由等 | 新規ネット回線の整備やICT支援員の増員により、ICT機器の保守更新の対応、ICT支援員によるサポートの充実、教職員を対象としたソフトウェア講習会など、ICT教育推進のための支援がより増強された。 |
|-----------------------|---|-------|--|

⑤ 今後の方向性 (ACTION: 改善)

| 今後の方針 | 今後の課題と改善案等 | 実施予定時期 |
|-------|--|--------|
| 拡大 | 教職員のICT機器の活用には、機器の使用に關してのサポートや環境のさらなる改善が必要である。ICT支援員の1名増員を4月に予定。 | 令和5年4月 |

① 基本情報

| | | | | | |
|------|-----------------------|-------------|-----------------------|--|--------------|
| 事業番号 | 事務事業名 | デジタル教科書更新事業 | 事業種別 | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | |
| 12 | 第2次 吉野川市 教育振興計画 | 教育目標 | 1 生きる力を持ち、未来を拓く子どもの育成 | 担当課(係) | 学校教育課(学校教育係) |
| | | 推進プログラム | 7 未来を切り拓く力の育成 | | |

② 事業概要 (PLAN: 計画設計)

| | |
|--------------------|--|
| 事業の目的・内容 | 指導者用デジタル教科書を導入・活用することにより、教職員による効果的な授業の推進とともに、抽象的な思考が難しい段階にある児童生徒への負担を軽減する。 |
| 前年度課題を踏まえた目標(新規除く) | 活用実績を調査・確認しデジタル教科書のライセンス更新や要望があった教科の新規導入を行う。 |

③ 実施結果 (DO: 推進)

| | | 名称 | 単位 | R4実績 |
|-------------|---------------------------------------|-----------|----|----------------|
| 事業実績・成果(指標) | | 【小学校】消耗品費 | 千円 | 2,665 |
| | | 【中学校】消耗品費 | 千円 | 1,677 |
| 事業費 | | | | 4,342 千円(R4決算) |
| 事業の実施内容 | 小・中学校からの導入要望を確認し、新規の指導者用デジタル教科書を導入した。 | | | |

④ 事業の評価 (CHECK: 点検・評価)

| | | | |
|-----------------------|---|-------|---|
| 総合評価 (A:高、B:中、C:低) | A | 評価理由等 | 小・中学校での授業での効果的な活用について実績を確認。次年度に向けての要望の調査を行った。 |
|-----------------------|---|-------|---|

⑤ 今後の方向性 (ACTION: 改善)

| 今後の方針 | 今後の課題と改善案等 | 実施予定時期 |
|-------|--|--------|
| 現状維持 | デジタル教科書導入による授業内容の変化に対応すべく、継続して小・中学校での活用状況と実績等を調査し要望を踏まえ、更新および新規の導入に備えて予算の確保に努める。 | 随時 |

自己点検評価シート(令和4年度実施事業)

① 基本情報

| | | | | | |
|------|-----------------------|-----------------|-----------------------------|--|--------------|
| 事業番号 | 事務事業名 | 中学校夜間学級就学援助支給事業 | 事業種別 | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | |
| 13 | 第2次 吉野川市 教育振興計画 | 教育目標 | 3「知・徳・体」の育成と多様な役割を担う学校教育の推進 | 担当課(係) | 学校教育課(学校教育係) |
| | | 推進プログラム | 10 個別の教育的ニーズに応じた教育の推進 | | |

② 事業概要 (PLAN: 計画設計)

| | |
|---------------------|---|
| 事業の目的・内容 | 吉野川市内に住所を有し夜間中学に通う生徒のうち、経済的理由により、就学困難と認められる生徒または生徒の保護者に対して、教材費など学習に係る費用を支給することにより、就学に支障をきたすことなく意欲的に学業に専念できるよう支援し、将来的に自立を促す。 |
| 前年度課題を踏まえた目標 (新規除く) | 夜間中学校(県立しらさぎ中学校)と連携して、生徒及び生徒の保護者に対して資料を送付する等周知を行い、援助費を支給する人数の目標を1人とする。 |

③ 実施結果 (DO: 推進)

| | 名称 | 単位 | R4実績 |
|--------------|------------------------------------|----|------|
| 事業実績・成果 (指標) | 中学校夜間学級就学援助受給者 | 人 | 1 |
| 事業費 | 25 千円(R4決算) | | |
| 事業の実施内容 | 県立しらさぎ中学校に通う1名の生徒に学用品費、通学用品費を支給した。 | | |

④ 事業の評価 (CHECK: 点検・評価)

| | | | |
|--------------------|---|-------|---|
| 総合評価 (A:高、B:中、C:低) | A | 評価理由等 | 県立しらさぎ中学校と連携して就学援助について周知を行い、1名の生徒に就学援助費を支給することができた。 |
|--------------------|---|-------|---|

⑤ 今後の方向性 (ACTION: 改善)

| 今後の方針 | 今後の課題と改善案等 | 実施予定時期 |
|-------|--|--------------|
| 現状維持 | 夜間中学校(県立しらさぎ中学校)と連携して、生徒及び生徒の保護者に対して資料を送付する等周知を行い、就学に支障をきたすことなく意欲的に学業に専念できるよう支援する。 | 令和5年4月(制度周知) |

① 基本情報

| | | | | | |
|------|-----------------------|-------------|------------------------|--|----------------|
| 事業番号 | 事務事業名 | 青少年育成補導センター | 事業種別 | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | |
| 14 | 第2次 吉野川市 教育振興計画 | 教育目標 | 2 家庭と地域の教育力再生 | 担当課(係) | 生涯学習課(人権社会教育係) |
| | | 推進プログラム | 12 子どもたちが健やかに育つ地域教育の充実 | | |

② 事業概要 (PLAN: 計画設計)

| | |
|---------------------|---|
| 事業の目的・内容 | 青少年の非行防止及び環境浄化等について適切な措置を講じ、心身共に健全な青少年の育成を図る。 |
| 前年度課題を踏まえた目標 (新規除く) | 関係機関との連絡体制を強化し、青少年の健全な成長を推進する。 |

③ 実施結果 (DO: 推進)

| | 名称 | 単位 | R4実績 |
|--------------|--|----|------|
| 事業実績・成果 (指標) | 定期街頭補導 | 回 | 毎日 |
| | 教育相談 | 件 | 46 |
| 事業費 | 1,557 千円(R4決算) | | |
| 事業の実施内容 | 街頭補導に加え、警察や学校から情報提供のあった不審者情報に対し、児童・青少年の安全確保のため見回り活動を行った。 | | |

④ 事業の評価 (CHECK: 点検・評価)

| | | | |
|--------------------|---|-------|--|
| 総合評価 (A:高、B:中、C:低) | B | 評価理由等 | 補導件数は0件だったが、不審者情報が寄せられており、学校や警察と情報連携して児童生徒の登下校に合わせて見回りの活動を行った。 |
|--------------------|---|-------|--|

⑤ 今後の方向性 (ACTION: 改善)

| 今後の方針 | 今後の課題と改善案等 | 実施予定時期 |
|--------|---|--------|
| 見直し/改善 | R4年度の街頭補導はなく、R3年度も1件と少なく推移しており、不審者情報を考慮しつつ、毎日の巡回活動について、より計画的に行う必要がある。 | 令和5年度 |

自己点検評価シート(令和4年度実施事業)

① 基本情報

| 事業番号 | 事務事業名 | | 人権教育推進事業 | 事業種別 | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 |
|------|-----------------------|---------|------------------------|--------|--|
| 15 | 第2次 吉野川市 教育振興計画 | 教育目標 | 3 生涯を通して学べる環境づくり | 担当課(係) | 生涯学習課(人権社会教育係) |
| | | 推進プログラム | 12 子どもたちが健やかに育つ地域教育の充実 | | |

② 事業概要(PLAN:計画設計)

| | |
|--------------------|--|
| 事業の目的・内容 | 人権教育及び子ども会活動を通じ、人権意識向上と人権問題解決に資する学力の充実を図る。 |
| 前年度課題を踏まえた目標(新規除く) | 小・中学校及び教育集会所での人権学習会の支援 |

③ 実施結果(DO:推進)

| | 名称 | 単位 | R4実績 |
|-------------|---|----|-------|
| 事業実績・成果(指標) | 人権学習会実施 | 箇所 | 8 |
| | 人権作文集「なかま」の発行 | 部 | 3,000 |
| 事業費 | 2,884 千円(R4決算) | | |
| 事業の実施内容 | 小・中学校から人権についての作文等を募集し、作文集にして全生徒や関係機関へ配布した。教育集会所等で人権学習会を開催し、人権学習を推進した。 | | |

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

| | | | |
|-----------------------|---|-------|--|
| 総合評価 (A:高、B:中、C:低) | A | 評価理由等 | 人権作文集「なかま」では、児童が実際に身の回りで起こった人権問題について感じたこと等を発表することで、児童の人権意識の向上に寄与している。人権学習会では、人権問題に向き合うために必要な学力の向上や意識等の醸成を図ることが出来た。 |
|-----------------------|---|-------|--|

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

| 今後の方針 | 今後の課題と改善案等 | 実施予定時期 |
|-------|---------------------|--------|
| 現状維持 | 今後も引き続き、人権学習の支援を図る。 | 令和5年度 |

① 基本情報

| 事業番号 | 事務事業名 | | 二十歳を祝う会開催事業 | 事業種別 | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 |
|------|-----------------------|---------|-----------------------|--------|--|
| 16 | 第2次 吉野川市 教育振興計画 | 教育目標 | 1 生きる力を持ち、未来を拓く子どもの育成 | 担当課(係) | 生涯学習課(人権社会教育係) |
| | | 推進プログラム | 7 豊かな人間性の基礎となる心の育成 | | |

② 事業概要(PLAN:計画設計)

| | |
|--------------------|--|
| 事業の目的・内容 | 二十歳を節目に成人として社会的責任を自覚し、これまでに育ててくれた人々や社会に感謝するとともに、市民が二十歳を迎える方を祝い励ます場として行う。 |
| 前年度課題を踏まえた目標(新規除く) | 出席者が安心して参加できるよう新型コロナウイルス感染症の感染予防策を徹底して開催する。 |

③ 実施結果(DO:推進)

| | 名称 | 単位 | R4実績 |
|-------------|---|----|------|
| 事業実績・成果(指標) | 参加人数 | 人 | 252 |
| | ※対象者 334人 | | |
| 事業費 | 716 千円(R4決算) | | |
| 事業の実施内容 | 令和5年成人式は「二十歳を祝う会」と名称変更し、昨年と同様に電子申請での予約やバーコード付き受付票での受付など参加者の利便性や事務手続きの簡略化を考慮し実施。4年度は保護者の入場も可能とし、導線を分け混雑を避けるなど新型コロナウイルス感染症対策を施した上で開催した。 | | |

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

| | | | |
|-----------------------|---|-------|---|
| 総合評価 (A:高、B:中、C:低) | A | 評価理由等 | 令和5年二十歳を祝う会は、電子申請での予約開始から当日まで大きなトラブルなく、二十歳の門出を祝うことができた。 |
|-----------------------|---|-------|---|

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

| 今後の方針 | 今後の課題と改善案等 | 実施予定時期 |
|-------|--------------------|--------|
| 現状維持 | 今後も引き続き効率的な運営に努める。 | 令和6年1月 |

自己点検評価シート(令和4年度実施事業)

① 基本情報

| 事業番号 | 事務事業名 | | 公民館活動推進事業 | 事業種別 | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 |
|------|-----------------------|---------|-------------------|--------|--|
| 17 | 第2次 吉野川市 教育振興計画 | 教育目標 | 3 生涯を通して学べる環境づくり | 担当課(係) | 生涯学習課(人権社会教育係) |
| | | 推進プログラム | 13 人権教育と生涯学習環境の充実 | | |

② 事業概要 (PLAN: 計画設計)

| | |
|--------------------|---------------------------------------|
| 事業の目的・内容 | 地域住民にとって身近な学習拠点として、また交流の拠点とする。 |
| 前年度課題を踏まえた目標(新規除く) | 感染症予防策を施し、地域の交流活動が停滞しないよう工夫した運営を展開する。 |

③ 実施結果 (DO: 推進)

| | 名称 | 単位 | R4実績 |
|-------------|---|----|--------|
| 事業実績・成果(指標) | 公民館利用者数 | 人 | 99,808 |
| | 公民館講座数 | 件 | 180 |
| 事業費 | 1,797 千円(R4決算) | | |
| 事業の実施内容 | 市民のニーズを取り入れた講座や伝統芸能の講座など、新たな講座の企画を行い、利用者の生涯学習を推進した。 | | |

④ 事業の評価 (CHECK: 点検・評価)

| | | | |
|--------------------------|---|-------|--|
| 総合評価 (A: 高、B: 中、C: 低) | B | 評価理由等 | コロナ禍であった令和2年度、3年度と比べ年々順調に利用者が回復し、地域交流が継続されている。 |
|--------------------------|---|-------|--|

⑤ 今後の方向性 (ACTION: 改善)

| 今後の方針 | 今後の課題と改善案等 | 実施予定時期 |
|-------|--|--------|
| 現状維持 | 若い世代の利用促進や、多様化するニーズをくみ取り最適な講座が開催できるよう、講座内容を見直し、工夫する。 | 令和5年度 |

① 基本情報

| 事業番号 | 事務事業名 | | 文化施設管理事業 | 事業種別 | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 |
|------|-----------------------|---------|----------------------|--------|--|
| 18 | 第2次 吉野川市 教育振興計画 | 教育目標 | 5 心に豊かさをもたらす文化の保護と振興 | 担当課(係) | 生涯学習課(文化振興係) |
| | | 推進プログラム | 17 芸術文化の振興と郷土文化の継承 | | |

② 事業概要 (PLAN: 計画設計)

| | |
|--------------------|---|
| 事業の目的・内容 | 指定管理者制度にとらわれず、文化施設の経費削減と施設運営面のサービス向上により利用者の利便性の向上を図る。指定期間は、文化研修センター: R3.4.1~R8.3.31、美郷ほたる館: R2.4.1~R7.3.31となっている。 |
| 前年度課題を踏まえた目標(新規除く) | 経費削減のため、アメニティセンターを市直営化して、隣接する山川公民館を統合運営することで人員を削減し、経費の削減を行ったが、引き続き、経費の削減を図り、コロナ禍明けによる利用増に伴う収入増を図る。 |

③ 実施結果 (DO: 推進)

| | 名称 | 単位 | R4実績 |
|-------------|---|----|--------|
| 事業実績・成果(指標) | 文化研修センター利用者 | 人 | 61,608 |
| | アメニティセンター利用者 | 人 | 6,307 |
| | 美郷ほたる館利用者 | 人 | 5,701 |
| 事業費 | 34,899 千円(R4決算) | | |
| 事業の実施内容 | 文化研修センター、美郷ほたる館は指定管理者による施設の管理運営を実施。アメニティセンターはR4年度から山川公民館と統合運営を行い、事務所を統合して管理運営を実施。 | | |

④ 事業の評価 (CHECK: 点検・評価)

| | | | |
|--------------------------|---|-------|---|
| 総合評価 (A: 高、B: 中、C: 低) | B | 評価理由等 | コロナ禍ではあるが、文化研修センターは企画展を実施するなど積極的に事業に取り組んだ結果、利用者はR3年度並みに多くの利用があった。他の施設は前年並みにとどまった。アメニティセンターは文化ホールのため、これまでのような行事の実施が困難である。また、鴨島公民館と重複しているため在り方を検討する必要がある。 |
|--------------------------|---|-------|---|

⑤ 今後の方向性 (ACTION: 改善)

| 今後の方針 | 今後の課題と改善案等 | 実施予定時期 |
|-------|--|--------|
| 現状維持 | 築年数の経過により修繕が増えていることから、重複した機能を持つ施設の統廃合を見据えて経費を抑えつつ管理運営に努める。 | 令和5年度 |

自己点検評価シート(令和4年度実施事業)

① 基本情報

| 事業番号 | 事務事業名 | 文化財保護管理事業 | 事業種別 | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | |
|------|-----------------------|--------------------|----------------------|--|--------------|
| 19 | 第2次 吉野川市 教育振興計画 | 教育目標 | 5 心に豊かさをもたらす文化の保護と振興 | 担当課(係) | 生涯学習課(文化振興係) |
| | 推進プログラム | 17 芸術文化の振興と郷土文化の継承 | | | |

② 事業概要 (PLAN: 計画設計)

| | |
|--------------------|---|
| 事業の目的・内容 | 市内の文化財の保護・管理及び伝統芸能(無形指定文化財)の伝承を支援し、文化財を活用して文化観光の推進を図る。潜在化し埋もれた保護すべき未指定文化財の指定を推進し、文化財の保護と活用を行い、文化観光の推進を図る。 |
| 前年度課題を踏まえた目標(新規除く) | 本市の歴史の証であり、市民の財産である文化財を後世に伝えていくために、保護・保存・活用を行い、市民の誇りと郷土愛の醸成を図る。 |

③ 実施結果 (DO: 推進)

| | 名称 | 単位 | R4実績 |
|-----------------|--|----|-------|
| 事業実績・成果 (指標) | 文化財新規指定件数(国県市指定文化財) | 件 | 3 |
| | 県指定「江川の湧水水温異常現象」周辺清掃活動参加者11回実施 | 人 | 1,403 |
| | 国指定「船窪オンツツジ群落」整備活動参加者3回実施 | 人 | 120 |
| | 山川町内市指定古墳・史跡清掃活動参加者4回実施 | 人 | 100 |
| | 藍のふるさと阿波 連携パネル展 吉野川市会場入場者 | 人 | 159 |
| 事業費 | 4,298 千円(R4決算) | | |
| 事業の実施内容 | ・国指定天然記念物船窪オンツツジ群落の保護管理計画に基づく保護・管理、国指定天然記念物「美郷の丸」美郷内開発に係る文化庁への申請窓口 ・指定文化財周辺の草刈り、剪定、修繕、現況調査、整理、案内・説明看板の設置・修繕 ・新規市指定文化財の指定3件 ・コミュニティ助成事業「森藤獅子舞の道具新調」・伝統芸能伝承団体への活動支援 ・藍屋敷の調査、未指定文化財の調査、 ・日本遺産「藍のふるさと阿波」構成文化財の調査 ・世界遺産認定に向けた「四国遍路」構成文化財の調査研究 ・文化観光の推進 | | |

④ 事業の評価 (CHECK: 点検・評価)

| | | | |
|-------------------------|---|-------|---|
| 総合評価 (A:高, B:中, C:低) | A | 評価理由等 | 文化財は、自然や歴史教育・観光資源として、市民はもとより、県民、国民の財産である。文化財保護法の趣旨に沿い、本市の歴史の証である文化財を後世に伝えていくため、保存・活用を行い、市民の誇りと郷土愛の醸成が図れている。 |
|-------------------------|---|-------|---|

⑤ 今後の方向性 (ACTION: 改善)

| 今後の方針 | 今後の課題と改善案等 | 実施予定時期 |
|-------|--|--------|
| 現状維持 | 文化財を後世に伝えていくために、最低限の費用で保存・活用を行っており、見直しを行うと、数百年間維持してきた文化財の保護が困難となる。文化財の保護・管理を行うのは本事業のみであり、廃止・休止となった場合、適切な保護・管理ができなくなり、本市の歴史の証が失われることになる。未指定文化財の調査に取り組み、保護・保存すべき文化財の新規指定に取り組む。 | 令和5年度 |

① 基本情報

| 事業番号 | 事務事業名 | 文化芸術振興事業 | 事業種別 | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | |
|------|-----------------------|--------------------|----------------------|--|--------------|
| 20 | 第2次 吉野川市 教育振興計画 | 教育目標 | 5 心に豊かさをもたらす文化の保護と振興 | 担当課(係) | 生涯学習課(文化振興係) |
| | 推進プログラム | 17 芸術文化の振興と郷土文化の継承 | | | |

② 事業概要 (PLAN: 計画設計)

| | |
|--------------------|--|
| 事業の目的・内容 | 文化関係団体の活動を支援するとともに育成を図る。文化芸術振興活動、国際交流事業に対する補助金交付及び活動に対する支援を行う。 |
| 前年度課題を踏まえた目標(新規除く) | 補助金により各団体の活動を支援することで、文化芸術の振興を図る。 |

③ 実施結果 (DO: 推進)

| | 名称 | 単位 | R4実績 |
|-----------------|---|----|-------|
| 事業実績・成果 (指標) | 吉野川市芸術祭 総合美術展、芸能祭、合同茶会・いけばな展 来場者数 | 人 | 1,550 |
| | 講演会(ふるさと講演会・文化講演会) 来場者数 | 人 | 260 |
| | 県展選抜展 来場者数 | 人 | 908 |
| | 日本語教室開催回数(鴨島47回、山川44回)(鴨島30名、山川18名) | 回 | 91 |
| | 国際交流協会: 交流事業参加者数(6回実施) | 人 | 352 |
| 事業費 | 1,290 千円(R4決算) | | |
| 事業の実施内容 | 文化芸術振興活動、国際交流事業に対する補助金交付及び活動に対する支援を行った。 | | |

④ 事業の評価 (CHECK: 点検・評価)

| | | | |
|-------------------------|---|-------|--|
| 総合評価 (A:高, B:中, C:低) | A | 評価理由等 | 各団体の活動により、本来市が直営で実施しなければならない文化芸術の振興に繋がる活動が活発に行われ、最小限の経費で最大の効果を上げることができており、補助金以上の活動を行うことができた。 |
|-------------------------|---|-------|--|

⑤ 今後の方向性 (ACTION: 改善)

| 今後の方針 | 今後の課題と改善案等 | 実施予定時期 |
|-------|---|--------|
| 現状維持 | 各団体の活動により、本来市が直営で実施しなければならない文化芸術の振興に繋がる活動が活発に行われ、最小限の経費で最大の効果を上げることができており、補助金以上の活動を行っていることから、現状のまま維持する。 | 令和5年度 |

自己点検評価シート(令和4年度実施事業)

① 基本情報

| | | | | | |
|------|-----------------------|---------------|------------------------|--|--------------|
| 事業番号 | 事務事業名 | 全国大会参加者派遣補助事業 | 事業種別 | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | |
| 21 | 第2次 吉野川市 教育振興計画 | 教育目標 | 4 生涯を通してスポーツに親しめる環境づくり | 担当課(係) | 生涯学習課(社会体育係) |
| | | 推進プログラム | 16 市民を主体とする生涯スポーツ環境の充実 | | |

② 事業概要 (PLAN: 計画設計)

| | |
|--------------------|---|
| 事業の目的・内容 | 全国大会へ出場する者及び保護者の負担を軽減することでスポーツ及び文化の振興を図る。 個人の場合 10,000円 団体の場合 上限10万円(10人までは1人につき10,000円) |
| 前年度課題を踏まえた目標(新規除く) | 全国大会出場者の増加に対応できるよう財政課と協議をしながら事業推進を行う。 |

③ 実施結果 (DO: 推進)

| | 名称 | 単位 | R4実績 |
|-------------|----------------------------|--------------|------|
| 事業実績・成果(指標) | 補助件数 | 件 | 28 |
| | 事業費 | 940 千円(R4決算) | |
| 事業の実施内容 | 関係者等に制度の概要について説明を行い補助金を交付。 | | |

④ 事業の評価 (CHECK: 点検・評価)

| | | | |
|-----------------------|---|-------|---------------------------------------|
| 総合評価 (A:高、B:中、C:低) | A | 評価理由等 | 前年度より全国大会出場の個人・団体が増加し、各出場者に補助金を交付できた。 |
|-----------------------|---|-------|---------------------------------------|

⑤ 今後の方向性 (ACTION: 改善)

| 今後の方針 | 今後の課題と改善案等 | 実施予定時期 |
|--------|---|--------|
| 見直し/改善 | 出場者の増加により予算不足となるため、財政課と協議しながら即時対応していく。該大会や対象出場者の基準の見直しが必要である。 | 令和5年度 |

① 基本情報

| | | | | | |
|------|-----------------------|------------------|------------------------|--|--------------|
| 事業番号 | 事務事業名 | 徳島駅伝吉野川市選手団運営委員会 | 事業種別 | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | |
| 22 | 第2次 吉野川市 教育振興計画 | 教育目標 | 4 生涯を通してスポーツに親しめる環境づくり | 担当課(係) | 生涯学習課(社会体育係) |
| | | 推進プログラム | 16 市民を主体とする生涯スポーツ環境の充実 | | |

② 事業概要 (PLAN: 計画設計)

| | |
|--------------------|--|
| 事業の目的・内容 | 選手及び指導者の育成を行い、吉野川市代表として徳島駅伝に出場し、地域の活性化を図る。 合同練習会・合宿等の強化を行い、1月3日～5日の徳島駅伝に出場する。 |
| 前年度課題を踏まえた目標(新規除く) | 学生選手の育成と強化を図り、チーム力を向上させ上位入賞を目指す。 |

③ 実施結果 (DO: 推進)

| | 名称 | 単位 | R4実績 |
|-------------|---|----------------|------|
| 事業実績・成果(指標) | 総合順位 | 位 | 10 |
| | 事業費 | 2,400 千円(R4決算) | |
| 事業の実施内容 | 新型コロナ感染対策を講じながら、選手の育成と強化練習に取り組み徳島駅伝に出場した。 | | |

④ 事業の評価 (CHECK: 点検・評価)

| | | | |
|-----------------------|---|-------|--|
| 総合評価 (A:高、B:中、C:低) | A | 評価理由等 | 新型コロナ感染対策により活動が制限された中でも工夫した練習方法を実施し、大会では十分に力を発揮できた。学生のレベルアップも図られていることから今後に期待される。 |
|-----------------------|---|-------|--|

⑤ 今後の方向性 (ACTION: 改善)

| 今後の方針 | 今後の課題と改善案等 | 実施予定時期 |
|-------|-----------------------------------|-------------------|
| 現状維持 | 選手団については、各学校と連携し中学生・高校生の育成・強化を図る。 | 令和5年7月～ 令和6年1月 |

自己点検評価シート(令和4年度実施事業)

① 基本情報

| | | | | | |
|------|-----------------------|-------------------|------------------------|--|--------------|
| 事業番号 | 事務事業名 | スポーツ団体活動支援・人材育成事業 | 事業種別 | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | |
| 23 | 第2次 吉野川市 教育振興計画 | 教育目標 | 4 生涯を通してスポーツに親しめる環境づくり | 担当課(係) | 生涯学習課(社会体育係) |
| | | 推進プログラム | 16 市民を主体とする生涯スポーツ環境の充実 | | |

② 事業概要(PLAN:計画設計)

| | |
|--------------------|--|
| 事業の目的・内容 | スポーツ団体の活動を支援するとともに競技者及び指導者の育成を図る。 市民の健康増進を推進し、市民相互の交流を図ることを目的とする。 市民体育祭・各種スポーツ大会の開催支援・スポーツ少年団活動補助・スポーツ推進委員設置 |
| 前年度課題を踏まえた目標(新規除く) | 市民がスポーツに触れる環境づくりに努め、競技力向上と健康増進を図る。 |

③ 実施結果(DO:推進)

| | 名称 | 単位 | R4実績 |
|-------------|---------------------------------|----|------|
| 事業実績・成果(指標) | スポーツ協会加盟団体数 | 団体 | 19 |
| | 市スポーツ推進委員数 | 人 | 25 |
| 事業費 | 5,889 千円(R4決算) | | |
| 事業の実施内容 | 新型コロナウイルス感染対策を講じながら各種事業の推進を図った。 | | |

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

| | | | |
|-----------------------|---|-------|--|
| 総合評価 (A:高、B:中、C:低) | A | 評価理由等 | 各種スポーツ団体の活動支援を行い、普及と競技力向上が図られた。 市民体育祭では、恒例の体力測定とオリンピック日本代表 室伏由佳さんの講演会を行い、多くの方々にはスポーツに触れる機会を提供できた。 |
|-----------------------|---|-------|--|

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

| 今後の方針 | 今後の課題と改善案等 | 実施予定時期 |
|-------|---|--------|
| 現状維持 | スポーツ団体の活動を支援することで、市民が年齢や体力に応じたスポーツに関わることができるよう環境づくりの推進に努める。 | 令和5年度 |

① 基本情報

| | | | | | |
|------|-----------------------|--------------|------------------------|--|--------------|
| 事業番号 | 事務事業名 | 体育施設の管理・運営事業 | 事業種別 | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | |
| 24 | 第2次 吉野川市 教育振興計画 | 教育目標 | 4 生涯を通してスポーツに親しめる環境づくり | 担当課(係) | 生涯学習課(社会体育係) |
| | | 推進プログラム | 16 市民を主体とする生涯スポーツ環境の充実 | | |

② 事業概要(PLAN:計画設計)

| | |
|--------------------|--|
| 事業の目的・内容 | 市民の運動活動の場所を提供し、スポーツの振興を図る。 体育施設の使用許可・管理及び維持修繕を行う。 |
| 前年度課題を踏まえた目標(新規除く) | 市民が快適に利用できるよう施設の整備を行い、スポーツに親しむ環境づくりを進めていく。 |

③ 実施結果(DO:推進)

| | 名称 | 単位 | R4実績 |
|-------------|--|----|--------|
| 事業実績・成果(指標) | 利用件数 | 件 | 15,325 |
| | | | |
| 事業費 | 64,413 千円(R4決算) | | |
| 事業の実施内容 | 定期的に施設を巡回し、老朽化している施設の修繕を行い維持管理に努める。 利用者からの意見を参考に利用方法の改善を図る。 | | |

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

| | | | |
|-----------------------|---|-------|--|
| 総合評価 (A:高、B:中、C:低) | A | 評価理由等 | 社会体育施設の利用者数も増加傾向にあり、施設改修についても随時修繕を行いながら維持管理に努めた。 |
|-----------------------|---|-------|--|

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

| 今後の方針 | 今後の課題と改善案等 | 実施予定時期 |
|-------|---|--------|
| 現状維持 | 市民が安心してスポーツを行えるよう施設を整備し、快適な環境を提供する。 施設改修も優先順位をつけ避難所に該当する施設から計画的に進めていく。 | 令和5年度 |

自己点検評価シート(令和4年度実施事業)

① 基本情報

| | | | | | |
|------|-----------------------|-----------------|------------------------|--|--------------|
| 事業番号 | 事務事業名 | 吉野川市民プラザ等指定管理業務 | 事業種別 | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | |
| 25 | 第2次 吉野川市 教育振興計画 | 教育目標 | 4 生涯を通してスポーツに親しめる環境づくり | 担当課(係) | 生涯学習課(社会体育係) |
| | | 推進プログラム | 16 市民を主体とする生涯スポーツ環境の充実 | | |

② 事業概要 (PLAN: 計画設計)

| | |
|--------------------|--|
| 事業の目的・内容 | まちなかの賑わい創出を図るとともに、文化・芸術交流の充実強化やコミュニティ形成の促進、市民の健康増進とスポーツ振興に寄与することを目的とする。施設の維持管理・運営に関する業務。 |
| 前年度課題を踏まえた目標(新規除く) | 新型コロナウイルス対策を講じながら、市民プラザの良好な維持管理と運営に取り組む。PR活動も行い利用者数の増加を図る。 |

③ 実施結果 (DO: 推進)

| | 名称 | 単位 | R4実績 |
|-------------|---|----|---------|
| 事業実績・成果(指標) | 市民プラザ利用者数(図書館含) | 人 | 204,942 |
| | 多目的グラウンド利用者数 | 人 | 53,490 |
| 事業費 | 166,100 千円(R4決算) | | |
| 事業の実施内容 | 新型コロナウイルス対策を講じながら安心して利用できるよう管理者と連携し維持管理と運営業務に努めた。 | | |

④ 事業の評価 (CHECK: 点検・評価)

| | | | |
|-----------------------|---|-------|---|
| 総合評価 (A:高、B:中、C:低) | A | 評価理由等 | 施設の良好な運営に伴い利用者数の増加が図られた。 また、維持管理についても適切に行い、環境整備の向上が図られた。 |
|-----------------------|---|-------|---|

⑤ 今後の方向性 (ACTION: 改善)

| 今後の方針 | 今後の課題と改善案等 | 実施予定時期 |
|--------|---|--------|
| 見直し/改善 | 市街地活性化のため地域の交流拠点としてのPR活動をさらに積極的に行い、利用者数と満足度の向上を図る。指定管理者変更に伴い運営業務の安定を図る。 | 令和5年度 |

① 基本情報

| | | | | | |
|------|-----------------------|----------|------------------------|--|--------------|
| 事業番号 | 事務事業名 | 美郷一周駅伝事業 | 事業種別 | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | |
| 26 | 第2次 吉野川市 教育振興計画 | 教育目標 | 4 生涯を通してスポーツに親しめる環境づくり | 担当課(係) | 生涯学習課(社会体育係) |
| | | 推進プログラム | 16 市民を主体とする生涯スポーツ環境の充実 | | |

② 事業概要 (PLAN: 計画設計)

| | |
|--------------------|--|
| 事業の目的・内容 | 吉野川市の活性化と地域住民の交流を図る。 一般の部(30チーム)女子の部(10チーム)を募集し、美郷地区内を4区間で襷をつなぎ駅伝を行う。 |
| 前年度課題を踏まえた目標(新規除く) | 新型コロナ対策を講じながら運営内容を再検討し、大会の実施に向けて事業を進めていく。 |

③ 実施結果 (DO: 推進)

| | 名称 | 単位 | R4実績 |
|-------------|------------------------------|-----|------|
| 事業実績・成果(指標) | 一般の部 | チーム | 29 |
| | 女子の部 | チーム | 7 |
| 事業費 | 0 千円(R4決算) | | |
| 事業の実施内容 | 新型コロナウイルス対策を講じた運営方法で大会を実施した。 | | |

④ 事業の評価 (CHECK: 点検・評価)

| | | | |
|-----------------------|---|-------|---|
| 総合評価 (A:高、B:中、C:低) | B | 評価理由等 | 新型コロナ対策のため運営方法を工夫し、3年ぶりの開催となったが、多くのチームの参加があり、市内の地域活性化に繋がった。 |
|-----------------------|---|-------|---|

⑤ 今後の方向性 (ACTION: 改善)

| 今後の方針 | 今後の課題と改善案等 | 実施予定時期 |
|--------|----------------------------------|---------|
| 見直し/改善 | 大会を継続していくために運営方法についての創意工夫が必要である。 | 令和5年12月 |

自己点検評価シート(令和4年度実施事業)

① 基本情報

| | | | | | |
|------|---------------|---------------------|------------------------|--|--------------|
| 事業番号 | 事務事業名 | 吉野川市リバーサイドハーフマラソン事業 | 事業種別 | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | |
| 27 | 第2次吉野川市教育振興計画 | 教育目標 | 4 生涯を通してスポーツに親しめる環境づくり | 担当課(係) | 生涯学習課(社会体育係) |
| | | 推進プログラム | 16 市民を主体とする生涯スポーツ環境の充実 | | |

② 事業概要(PLAN:計画設計)

| | |
|--------------------|---|
| 事業の目的・内容 | 吉野川市のPR及び交流人口の増加を図る。 鴨島運動場を発着点とするハーフマラソン・3kmの部を開催。 |
| 前年度課題を踏まえた目標(新規除く) | 新型コロナ感染対策を講じながら運営内容を再検討し、大会の実施に向けて事業を進めていく。 |

③ 実施結果(DO:推進)

| | 名称 | 単位 | R4実績 |
|-------------|----------------------------|----|----------------|
| 事業実績・成果(指標) | 申込者数 | 人 | 546 |
| | | | |
| 事業費 | | | 1,828 千円(R4決算) |
| 事業の実施内容 | 新型コロナ感染対策を講じた運営方法で大会を実施した。 | | |

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

| | | | |
|-----------------------|----------|-------|---|
| 総合評価 (A:高、B:中、C:低) | B | 評価理由等 | 新型コロナ感染対策のため運営方法を工夫し、3年ぶりの開催となったが、県内外から多くの参加があり、市の賑わい創出に繋がった。 会場整備については不備があったため、入念な注意が必要である。 |
|-----------------------|----------|-------|---|

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

| 今後の方針 | 今後の課題と改善案等 | 実施予定時期 |
|--------|----------------------------------|--------|
| 見直し/改善 | 大会を継続していくために運営方法についての創意工夫が必要である。 | 令和6年2月 |

① 基本情報

| | | | | | |
|------|---------------|------------|------------------------|--|--------------------------|
| 事業番号 | 事務事業名 | インターハイ開催事業 | 事業種別 | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | |
| 28 | 第2次吉野川市教育振興計画 | 教育目標 | 4 生涯を通してスポーツに親しめる環境づくり | 担当課(係) | 全国高校総体推進室 (全国高校総体推進係) |
| | | 推進プログラム | 16 市民を主体とする生涯スポーツ環境の充実 | | |

② 事業概要(PLAN:計画設計)

| | |
|--------------------|---|
| 事業の目的・内容 | 令和4年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ)開催に向け必要な負担を行う。 |
| 前年度課題を踏まえた目標(新規除く) | 本市を幹事市として開催されるバドミントン競技大会の運営が円滑に行えるよう準備を進めていく。 |

③ 実施結果(DO:推進)

| | 名称 | 単位 | R4実績 |
|-------------|--|----|----------------|
| 事業実績・成果(指標) | 全国高等学校総合体育大会実行委員会負担金 | 円 | 6,891,259 |
| | 来場者数 | 人 | 7,982 |
| 事業費 | | | 6,891 千円(R4決算) |
| 事業の実施内容 | 令和4年度全国高等学校総合体育大会吉野川市実行委員会の活動のために負担金を支出。 バドミントン競技(市民プラザ)・サッカー競技(多目的グラウンド) | | |

④ 事業の評価(CHECK:点検・評価)

| | | | |
|-----------------------|----------|-------|--|
| 総合評価 (A:高、B:中、C:低) | A | 評価理由等 | 全国から来場者を迎えてインターハイを開催できたことで、市のPRと活性化に大きく貢献することができた。 |
|-----------------------|----------|-------|--|

⑤ 今後の方向性(ACTION:改善)

| 今後の方針 | 今後の課題と改善案等 | 実施予定時期 |
|-------|------------|--------|
| 完了 | - | - |

自己点検評価シート(令和4年度実施事業)

① 基本情報

| | | | | | |
|------|-----------------------|------------|-------------------------|--|----------|
| 事業番号 | 事務事業名 | 学校給食センター事業 | 事業種別 | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | |
| 29 | 第2次 吉野川市 教育振興計画 | 教育目標 | 1 生きる力を持ち、未来を拓く子どもの育成 | 担当課(係) | 学校給食センター |
| | | 推進プログラム | 6 心身ともに健やかでたくましく生きる力の育成 | | |

② 事業概要 (PLAN: 計画設計)

| | |
|---------------------|--|
| 事業の目的・内容 | 児童生徒に栄養バランスのとれた給食の提供並びに食育の推進 |
| 前年度課題を踏まえた目標 (新規除く) | 児童生徒に栄養バランスのとれた給食を提供する。食育コーディネーターである栄養教諭を中心に、食育に関する指導の推進及び啓発活動に努めるとともに、学校給食が生きた教材として活用されるよう、学校給食センターと関係機関が連携し、学校給食における地産地消を推進する。 |

③ 実施結果 (DO: 推進)

| | 名称 | 単位 | R4実績 |
|--------------|--|----|------|
| 事業実績・成果 (指標) | 食育授業数 | 回 | 64 |
| | | | |
| 事業費 | 279,029 千円 (R4決算) | | |
| 事業の実施内容 | 地場産物活用や伝統料理・行事食を大切にし、食品構成に配慮した魅力ある献立を作成し給食を提供した。栄養教諭を中心に小・中学生に食育の授業を行い、小・中学校には掲示物、各家庭には食育だよりを配付し、また、市ホームページにて毎月給食だより・献立予定表を掲載した。 | | |

④ 事業の評価 (CHECK: 点検・評価)

| | | | |
|-----------------------|---|-------|---|
| 総合評価 (A: 高、B: 中、C: 低) | A | 評価理由等 | 地場産物活用や伝統料理・行事食を大切にし、食品構成に配慮した魅力ある給食の提供を行っている。栄養教諭を中心に小・中学生に食育の授業、小・中学校に掲示物、各家庭に食育だよりを配付し、毎月市ホームページに給食だよりを掲載するなど食に関する指導および啓発活動を行っている。 |
|-----------------------|---|-------|---|

⑤ 今後の方向性 (ACTION: 改善)

| 今後の方針 | 今後の課題と改善案等 | 実施予定時期 |
|-------|--|--------|
| 現状維持 | 今後も、児童生徒に地場産物活用や伝統料理・行事食を大切にし、食品構成に配慮した魅力ある献立を作成し、栄養バランスのとれた給食を提供する。 | 令和5年度 |